



1枚に切り取る医療界の2週間

Medical management support by astellas

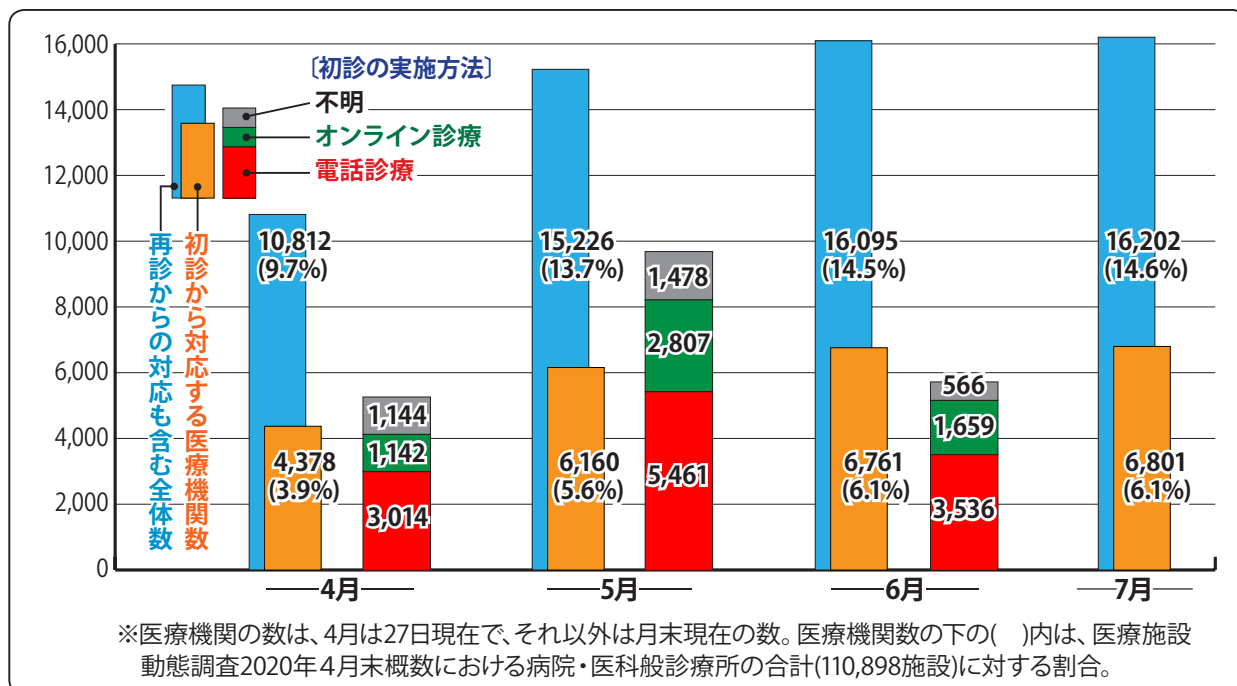
2020年8月31日号

初診からの電話等による診療状況など示される ～「時限的」対応の検証

《背景》 新型コロナウイルス感染防止対策の一環で通達された、診療等の時限的・特例的な取り扱いについて、医療現場の対応状況に係る検証が行われた。その中で、初診からの電話・オンラインによる診療の実施件数などが示された。

《解説》 検証は、厚生労働省の「オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会」で行われました。その資料によると、時限的・特例的な取り扱いに対応する医療機関の数は、4月以降7月まで増加していますが、対応する医療機関全体に占める、初診から電話等による診療に対応する医療機関の割合は、おおむね4割という状況でした。また、初診から電話等による診療を行ったと報告があった件数は、5月が最も多く、9,740件余り(電話かオンラインかなどが不明を含む)となっています。

◎時限的・特例的な取り扱いに対応する医療機関数の推移(4月～7月)および同取り扱いに基づく初診からの電話等による診療の実施件数(4月～6月)



(厚生労働省資料「令和2年4月～6月の電話診療・オンライン診療の実績の検証について」から、医療総研(株)引用・作成)

《発行》

アステラス製薬株式会社

東京都中央区日本橋本町2-5-1 〒103-8411

《内容についてのお問い合わせ先》

医療総研株式会社 (担当: 田中 勝志)

東京都文京区後楽2-3-4第二松屋ビル 〒112-0004
TEL. 03-3817-8867